# 会だよ

No.208 <sup>6和2 (2020)年</sup> 11月1日

## ー編集と発行ー 門 真 市 議 会 の6-6902-1231<sub>(代表)</sub> 072-885-1231

門真市文化財保

条例

の制定や

|予算など22議案を可決

特徴づけるものを うち、特に本市の 料及び市内に所在

市指定文化財 歴史や文化を する文化財

## 第3回定例会

ついて」など、市長提出議案25件、

継続審査となりました。また、門真市立保育所条例の一部改正については修正案を この結果、決算関連議案5件は、決算特別委員会を設置の上、付託し、閉会中の 原案を可決し、その他の議案はいずれも原案のとおり可決、承認並びに同

意し、9月18日に閉会しました。



-中学校跡地での発掘調査の様子

要な措置を講じ、もって市民の文 うち、市にとって重要なものにつ 化の発展に貢献するものです。 化の向上に資するとともに郷土文 化財で市の区域内に存するものの よる指定を受けた文化財以外の文 条第2項の規定に基づき、同法又 いて、その保存及び活用のため必 は大阪府文化財保護条例の規定に ついては、文化財保護法第182 門真市文化財保護条例の制定に

# 〔議決結果〕全員異議なく可決

民生水道常任委員会審査概要

条例制定の経緯は

施している大がかりな発掘調査 おいて出土した考古資料を含め による出土品や、過去の調査に 旧第一中学校跡地において実

> 算 (1) (第9号)

としたので、それ以後に出生し

た乳児に対し、給付するためで

る0歳から中学生までの児童等 30日時点で本市に住民登録があ

相違点は。 市指定文化財と 地域文化財の

答

2年5月1日から3年3月31

るものである。 ら審議会に諮問し 定める選定基準に 市指定文化財は た上で指定す 基づき、市か 本市が今後

って、2年9月30日又は申請日

日までの間に出生した乳児であ

らの指定を受けて のうち、地域に根 れてきたものを市 又化財保護審議会 に登録するものである。 地域文化財は、 国・府・市か 差して継承さ の意見をもと 民から募り、

問

対象者が前述の期間の理由は

給付するものである。

ある乳児に対し、1人1万円を 時点において、本市に住民票が

答

さきに実施したおうち時間応

援給付金は、対象者を2年4月

〔議決結果〕全員異議なく可決

これまでに収集してきた各種資

**令和2年第3回定例会は、9月7日に開会し、「門真市文化財保護条例の制定に** 議員提出議案2件について慎重に審議しました。

## 条例制定による 効果は。

きると考えたため

である。

の保存、活用をより一層推進で

として指定することで、文化財

可能となる。 域文化財として登 物語る各種の文化財を、市指定 をもとに、本市の歴史や文化を 識を有する学識経 文化財として指定 審議会の設置に より、 録することが することや地 験者等の意見 専門知

上が図られ、これ 真への愛着が深ま にある文化財に対 その結果、市民 るものと考え まで以上に門 する意識の向 にとって身近

問

給付事業の内容は。

産後ママ育児パパ応援給付金

新たに本市独自給付金を創設

コロナ禍での子育て世代を支援

(文教こども常任委員会審査概要①)

○議案審議等の概要………1~3ページ

じ

・文化財保護条例の制定、一般会計補正予算(1)

<

・一般会計補正予算(2)、保育所条例の一部改正

・意見書、人事案件、議会日程など ○一般質問………3~7ページ

○議決結果、議会活動日誌………8ページ

〔文教こども常任委員会 審査概要②〕

公民連携により

子 ど も し の B B Y を 設 置

# 同LOBBY設置の経緯は。

## 問 答 組みを実施できないかとの提案 チ・ツー・オー商業開発や府も を受け、子会社の株式会社エイ 店の3階で子どものための取り ング株式会社よりイズミヤ門真 エイチ・ツー・オーリテイリ

# 同LOBBYの開設時期や同

答 実施できると期待している。 まざまなイベントの開催や同し 〇BBYの効率的な情報発信が ーランドと連携することで、さ その連携の一例として、 同所に開設予定の海洋堂ホビ 3年4月1日を予定している。

## 問

## 議会だより 〇BBYの設置に至った。

所に設置するメリットは。

ギュア製作、色塗り体験、

含めて協議を進めた結果、

# 問

答 とを想定している。 席間隔の確保、1部と2部の間 非接触型体温計による検温、座 には座席等の消毒作業を行うこ ホワイエで行う受付の簡素化

議場にアクリル板を設置

コロナ禍での市長選挙を経て市長 2期目初となる、本会議での様子

もつながると考えている。 創造性や忍耐力を伸ばすことに たちの非認知能力の一つである 体験等を想定しており、子ども

## 問 ほかの企業との連携は。

の配色や家具のレイアウトなど よう協議中である。 授業を無料で開催してもらえる ドリンクを補充する自販機体験 の歴史授業や、実際の自販機に 会社と紙芝居形式で行う自販機 方向で一定の了解を得ている。 ア雑貨を無償で提供してもらう のデザイン及び家具やインテリ 株式会社IKEAから、 また、ダイドードリンコ株式

# 民生水道常任委員会 審査概要

## 成人祭2部制で開催 オンラインでも配信

閰

具体の内容は

答 部制で開催し、自宅からでも成 ンでの配信を想定している。 人祭に参加できるようオンライ 来場者を分散できるように2

# 会場等での新型コロナ対策は

の順路や、会場周辺での滞留に また、新成人が入館するまで

を求める。 もに、新成人に対しても、新型 員を増員して誘導対応するとと よる密集を回避するため、 コロナ対策の徹底について協力 警備

問

具体の雇用方法は

を行うものである。

# 総務建設常任委員会審査概要)

た市内受託業者が、ハローワー

一般競争入札により選定され

クなどにより、できる限り市内

在住の失業者等を新規雇用する。

## コロナ禍での就労支援として 市内失業者等を雇用

問

事業実施による効果は。

## 問 公園等環境美化推進事業とは

答

雇用した失業者等が収入を得

雑草類の伐根により来年度の雑

ことを期待している。加えて、

PCR検体採取センターを市内に開設

●避難所用に非接触型体温計や段ボール

●市内小規模事業者に対しⅠT導入費用

●スマホで読書。電子書籍の貸し出しを

●ルミエールホール大ホールなどの利用

ることで生活の安定につながる

望の迅速な対応はもとより公園 草の繁茂を防ぐことで、市民要

新型コロナ関連

対策の拡充へ

ベッドなどを確保

の一部を補助

来年1月開始へ

ました。

スムーズに進み公園美化がより 施設の修理や樹木の剪定作業が

層保たれるものと考えている。

答 や集水ますに蓄積した汚泥清掃 を対象に雑草類の伐根及び側溝 までの間、市内の公園敷地内等 職を余儀なくされた人を雇用し、 公園等の良好な環境を保持する ことを目的として、3年3月末 新型コロナの影響を受け、離

アルコール消毒の喚起

進



傍聴席の間隔をあける

門真市議会

マスクの着用

されました。 園の廃止決定は、市 4年半後を施行日と 園の再編計画を策定 られるものではない 当該条文を削除する

ができる環境を確保するため、後も在園児が保育を受けること

同保育園仮設園舎の利用期限

近隣の民間保育所、認定こども

## (議決結果) 原案を禁 賛成多数で可決

として進め、保護者にいずれか修した公共施設での保育を方策園等への転園もしくは、一部改

# は。

移転及び廃園手続等のスケジュ 月末日をもって廃園とすること、 選択してもらうことや、7年3

ルについて記載している。

園舎に住所の変更 撤去することから、 育園の廃園に向け 7月に策定した門 の位置を本園舎か 本年度中に本園 を行う。また、 真市立浜町保 た調整計画に

## 閰 条例改正の概要

から現在の仮設ら、浜町保育園圏舎を取り壊し

## を行うものです。 を廃園する等につき、 園最適化基本方針」 については、門真市立浜町保育園 浜町保育園を廃園 条例改正について 門真市立保育所条 本案については、 修正案 否決後、 する浜町保育 に基づく公立 例の一部改正 修正案が提出 との考えから、 民の理解を得 することなく、 正案を否決 る 所要の改正 門真市公立

問

同計画の内容は

基づき、

在園児が卒園するまで

て一部改修した公共施設で保育の保育環境の確保策の一つとし

が終了する7年3月末日をもっ て廃園を考えていることから、 年4月1日で項目を削除する。

## 問 保護者の反応は

答 たため、一定の理解がり市の考え方を説明し あったと考えている。 さまざまな手法によ



## 料を半額補助 ●リモート市民相談の拡充に備えノート パソコンを確保 など、本定例会においてもさまざまな 新型コロナ関連議案が可決、承認され

## 決算特別委員会委員構成

委員長	内海 武寿
副委員長	大倉 基文
委 員 (議席順)	中道建
	寺西 敬子
	吉水 志晴
	岡本 宗城
	亀井 淳
	今田 哲哉

ては、 元年度の決算関連議案5件につ今回の定例会に提案された令 決算特別委員会を設置し、慎重に審査する必要がある の定例会に提案された令和 一継続審査を付託しました。

特別委員会設置

(固定資産評価審査委員会委員の選任) 、事案件に同意

任命に同意しました。 案されたもので、それぞれ選任 以上2件は任期満了に伴

提

門真市宮前町18番6号 元以

**高**たか

橋し

、教育委員会委員の任命)

**北**た

**岡**か

慎ん

太た

息

門真市本町16番3号

## 令和2年第4回定例会の開催予定

	と	き	内 容
	7日(月)		本 会 議
	8日火	- 午前10時から	総務建設常任委員会
12月	9日(水)		民生水道常任委員会
	10日(木)		文教こども常任委員会
	17日(木)		本 会 議 (一般質問)
	18日(金)		本 会 議 (一般質問)

※日程は、都合により変更となる場合あり。

うにするシステムで

ある。

たも、「て で で で で で で で アレワーク 環境を 構築 して いる 。 設利用予約等のオンライン申請及 コンビニ交付や文化・スポーツ施 ま 駒を行った。 また、住民票等の

報を行えるよ



## 意 見 書 を 可 決

以下の2件の意見書を可決し、その内容の実現を求めるため、政府関係機関等へ送付しました。 

## 地方自治体のデジタル化の着実な推進を求める意見書

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、これまで取り組んできたデジタル化の推進に ついてさまざまな課題が浮き彫りになった。こうした事態を受け、7月17日に閣議決定された 「世界最先端デジタル国家創造宣言・官民データ活用推進基本計画」において、我が国をデジ タル技術により強靱化させ、我が国経済を再起動するとの考えのもと、「国民の利便性を向上 させる、デジタル化」「効率化の追求を目指した、デジタル化」「データの資源化と最大活用 に繋がる、デジタル化」「安心・安全の追求を前提とした、デジタル化」「人にやさしい、デ ジタル化」実現のため、本格的・抜本的な社会全体のデジタル化を進めるとの姿勢を示した。

また、政府の第32次地方制度調査会において、地方行政のデジタル化の推進などを盛り込ん だ「地方行政体制のあり方等に関する答申」が提出され、社会全体で徹底したデジタル化が進 むことで、東京一極集中による人口の過度の偏在の緩和や、これによる大規模な自然災害や感 染症等のリスクの低減も期待できるとして、国の果たすべき役割について大きな期待を寄せて いる。

よって政府においては、地方自治体のデジタル化の着実な推進を図るため、下記の事項を実 施するよう強く要望する。

- 法令やガイドライン等により書面や対面・押印が義務づけられているものについて、可能 な限り簡易にオンラインで実現できる仕組みを構築すること。特にマイナンバーカードの更 新手続について、オンライン申請を実現すること。
- 2 情報システムの標準化・共通化、クラウド活用を促進すること。また、法定受託事務につ いても、業務プロセスの標準化を図り、自治体がクラウドサービスを利用できる仕組みを検 討すること。
- 令和3年度から4年度に全国の自治体で更新が予定されている自治体情報セキュリティク ラウドについて導入時と同様の財政措置を講ずること。
- 今後の制度改正に伴うシステム改修を行う際には、地方の事務処理の実態を正確に把握す るとともに、地方公共団体の負担とならないよう十分な人的支援及び財政措置を講じること。

## 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し 地方税財源の確保を求める意見書

新型コロナウイルス感染症が世界的に蔓延し、我が国は、戦後最大の経済危機に直面してい る。地域経済にも大きな影響が及び、本年度はもとより来年度においても、地方税・地方交付 税など一般財源の激減が避けがたくなっている。

地方自治体では、医療介護、子育て、地域の防災・減災、雇用の確保など喫緊の財政需要へ の対応を初め、長期化する感染症対策にも迫られ、地方財政は巨額の財政不足を生じ、これま でにない厳しい状況に陥ることが予想される。

よって政府においては、令和3年度地方財政対策及び地方税制改正に向け、下記事項を確実 に実現されるよう、強く要望する。

- 地方の安定的な財政運営に必要な地方税・地方交付税などの一般財源総額を確保すること。 その際、臨時財政対策債が累積することのないよう、発行額の縮減に努めるとともに、償還 財源を確保すること。
- 地方交付税については、引き続き財源保障機能と財源調整機能の両機能が適切に発揮でき るよう総額を確保すること。
- 令和2年度の地方税収が大幅に減収となることが予想されることから、思い切った減収補 塡措置を講じるとともに、減収補塡債の対象となる税目についても、地方消費税を含め弾力 的に対応すること。
- 4 税源の偏在性が小さく、税収が安定的な地方税体系の構築に努めるとともに、国税・地方 税の政策税制については、積極的な整理合理化を図り、新設・拡充・継続に当たっては、有 効性・緊急性を厳格に判断すること。
- とりわけ、固定資産税は、市町村の極めて重要な基幹税であり、制度の根幹に影響する見 直しは、土地・家屋・償却資産を問わず、断じて行わないこと。さきの緊急経済対策として 講じた特例措置は、臨時・異例の措置として、やむを得ないものであったが、本来国庫補助 金などにより対応すべきものである。よって、今回限りの措置とし、期限の到来をもって確 実に終了すること。

クセスし、救急か火東携帯電話等から専田 状態を問いかけたができ、同本部ができ、同本部が での処置を伝えたり 同本部が通知し、通報者のは たり 院本部に通報の位置情報を指 事のどちらか するために、 報者へ身体の 用サイトにア 到着するま

今後、行政情報システムの標準

共同化を見据えた業務過程の

直し等に取り組み、

最適なデジ

の活用について検討する。

## 緊急通報システム **NET119** につい

7

松本 京子 (公明党)

文字でのやりとりで詳細を確認す

る仕組みとなっている。

同システム導入のメリットは。

のある方が円滑に 難な聴覚、音声・ 音声による 1 ある方が円滑に通 音声による1 同システムの • 概 9番通 語機能障がい 報が困

実験を行った。また、住民票等の援システムの導入、RPAの実証援・人の実証の議事録作成支

行政のデジタル化について

話や位置情報つきの通報ができる。 電子メールでやりとりが困難な緊 ファクスができない外出時や チャットでの文字対

9月17日、18日の本会議において、19名の議員が市政に 対する質問を行いました。

主な質問と答弁の要旨を3面から6面に掲載しています。 (通告順)

質問・答弁の詳細な内容については、市議会ホームページをごらんください。 ※第3回定例会の会議録は12月初旬に掲載する予定です。



の実施について

市長選公約「学校給食費無償化\_



淳

検討並びに、実施時期等を見き

効果的な実施方法

## (日本共産党)

# 亀井

## わめながら適切に判断していく。 まちづくりについて 国道163号以南の

きるが、公約として掲げた同無償 から移り住む人がふえていると聞実させている明石市では、周辺市 きたら、大きな力になると考える。 まで自校調理方式の給食があるこ の人に来てもらうために、中学校 く。財政的に厳しいことは理解で 同無償化を初め、子育て施策を充 とに加え、同無償化をアピールで 実現には多額の財政負担が生 本市に子育て真っ盛りの世代 発が進み禍根を残してしまう。緑 導をしなくては、無秩序なミニ開 域の解消等、市が必要な政策的誘 や自転車道路の整備、交通不便地 かえなどによる余剰地活用、歩道 図るべきと考えるが市の見解は。 や空間等潤いのあるまちづくりを 過言ではない。市営門真住宅建て 北格差」になっているといっても 公共施設の配置状況は 問 都市計画マスタープランなど 同国道以南の住民からすれば 「門真の南

な方向性を検討していく。 において、地域特性に応じた新た 

化について、市長の考えは。

議会だより

えた教員の相談対応等をしている。 セリング、コロナ対応に不安を抱 た子どもの心のケア、子どもとの ムが臨時休校中生活リズムを崩し かかわりに悩む保護者へのカウン

五味

(大阪維新の会

緑風議員団)

聖二

事業者に対し、国・府等の制度へ

産業振興課窓口において市内

コロナ禍の中小企業支援策は

の申請支援を積極的に行うととも

に、府と共同で実施した休業要請

古川橋駅北側や松生町等での 今後の目標と取り組みは。 市長2期目4年間について

国内外の子どもたちとの交流につ ムによる児童同士の交流を計画し ている。今後もネット活用による 引き続き調査研究していく。

答問

子ども悩み相談サポートチー

化のための相談体制の強化を図っ を同課内に配置し、企業経営安定 点から派遣された中小企業診断士

めたデータベースを掲載している。

連絡先等企業の基本情報を集

コロナ禍で子ども等のケアは。

学校教育について

トコロナの視点も踏まえたまちづ 協働・共創やウィズコロナ、ポス いくが、SDGsへの取り組み、 当面は新型コロナ対策を実施して と住環境の向上に努めていく。 まちづくりの進展にあわせて学力

くりの実現に取り組む。



# 避難所整備について

する。また、体育館以外の空調設 小・中学校体育館にて、適宜活用 避難所における熱中症対策は スポットクーラーを導入する

答 問 洪水避難ビルの確保は。

避難が重要である。本町市営住宅 市営住宅も指定に向け、調整する。 は同ビルに指定しており、ほかの 洪水時は安全な場所への垂直

## 康弘 大西

# 防災情報伝達について

市HPでの同情報への的確な

## (自由民主党)

誘導と情報提供はどうか。 同情報を整理し、市民が知り

行動に役立つ情報提供に努める。 うに工夫する。また、市民の防災 たい同情報を容易に閲覧できるよ

モノレール新駅設

置について

業を進めている。

また、守口市門真市消防組合消

行き車線へ接続する交差点改良事

岡本

菊水門真線から大阪中央環状線南ての利便性向上を図るため、市道

宗城

交通広場等を結ぶ交通結節点とし 閉在、新駅の整備効果を高め、

(公明党)

# 期的に掲載し、また、職員による備えや避難行動に関する情報を定 市広報紙で避難場所、災害の

# 妊婦特別給付金について

機会を通じて同情報を伝えている。 防災講話や防災訓練等さまざまな

計画図書の 検討や都市

業施設への

式会社の商

の完成に向け具体の

施工シミュレ

4年度に開業予定の三井不動産株 防本部からの緊急車両の速達性や、

駅配置等を確定 予備設計の進捗

į

本年度末

採況は。

ーションの

都市計画変

3年度末の

南伸予定のモノレール

引き続き関

交差点改良予定地の現在の様子

係者との協

もつながる 動線確保に

ことから、

更を目指し

関係者と協

議を進める。

す。

供用を目指

議を進め、

手している。

作成等に着

を給付し、引き続き相談対応等、 圏 産後ママ育児パパ応援給付金 間 新たな同給付金の考えは。 妊婦並びに新生児の支援に努める。 産後ママ育児パパ応援給付金



(公明党)

## ている。 今後の取り組みは

## 注視しながら、新たな同支援策に ついて引き続き検討する。 等を実施しつつ、国・府の施策を ンツの充実による情報発信の強化 ものづくりタウンかどまのコンテ のIT機器等導入費用の一部補助 者等の雇用促進や小規模事業者へ 新型コロナの影響による離職

産業振興について

# 同タウンかどまの概要は。

## 促進を目指すポータルサイトとし の運営委託により開設している。 て、中小企業サポートセンターへ 外の企業との受注機会拡大や連携 り企業の特徴や魅力を伝え、市内 答問 現在企業概要を初め、技術や設 昨年10月に、市内のものづく

同計画における「

総合的な相談

また、同センターのさらなる周

舗応援ステッカー交付事業を実施!20%還元事業や、かどま商業店

した。また、大阪府よろず支援拠

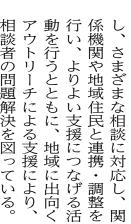
施策としてかどまでPayPay

支援金の給付のほか、本市の独自

# 第3期地域福祉計画について

制の構築が重要と考える。 の支援体制と断らない相談支援体的に出向いていくアウトリーチ型 金の活用も視野に入 社会福祉法等改 これからの地域 れつつ、積極 止による交付 福祉において

容 同計画における総合的な相談
支援体制の構築」の現状と課題は。 る。同センターでは 相談支援センターを 支援窓口として、い ィソーシャルワー カ きいきネット 位置づけてい コミュニテ



寺西 敬子

## (公明党) の ための介入には、普段からの関係 相談者の問題解決を図っている。 づくりがかなめとなるため、地域 者への対応がある。相談や支援の 人々の協力が重要と考えている。 課題としては、支援を望まない





## が深刻化する相談者の問題 知とアウトリーチの強化により、 前に早期発見 とも必要と考 につなげるこ し、早期解決

あるが、オンライン申請は未実施 のダウンロードなどが利用可能で

英彦

# 福田

## (日本共産党)

# 取り組み、新しい生活様式を踏ま

取センターを8月27日に開設した。 市においては、唾液による検体採 され適時検査が実施されており、 さらなる経済対策等が必要と認識 健所管内で実施医療機関等が開設 大規模クラスターの報告はない。 高まる傾向にあるが、施設等での 感染拡大に伴い重症化のリスクは PCR検査については、守口保 感染症の収束が見通せない中、 9月15日現在、 新型コロナ対策事業の課題は。 市内感染者の状況と認識は。 101人で、

## え必要に応じ支援施策を検討する。 文化財保護行政の推進について

未利用地の活用について

新型コロナ感染症対策について

会が必置となったことから、専門を所管する場合、文化財保護審議 市長部局で文化財保護の事務 性や継続性等を担保していく。 れることを危惧するが市の見解は。が重視され、同保護行政が歪めら 護」より、観光資源等への「活用」長部局へ移管したが、文化財の「保 構成する同審議会を設置し、専門 的な知見を有する学識経験者等で 問 護行政の所管を教育委員会から市 市は、法改正に伴い文化財保

予定計画は。

考えるが、同跡地の現状と今後の 活性化の手段として重要であると 利用地の活用は、市の財源確保や

取り組みは。

導入後の更新計画と策定

への

今後の財政への影響

4762人の減少と 8月1日の本市人口

音について、市こなっているが、

を比較すると 日と令和2年

の見解は。

答

ンターの跡地を初め、

市保有の未

について小・中学校学習者用端末

平成31年に閉鎖した旧浄化セ

を見きわめていく。

手法について検討を行い、

の活用、売却、賃貸等さまざまな

令和2年国勢調査

による

歳入減の見込みについて

平成27年8月1

答



吉水 志晴 (大阪維新の会 緑風議員団)

## と今後の方針は。 クラウドサービスの活用状況

いったメリットを有することから、削減、災害対策、管理負荷軽減と答っクラウドサービスは、コスト 進めている。 し、クラウドサービスへの移行をセキュリティリスクを最大限低減

考慮した上で効率的・効果的に活 今後も、国の動向や安全面等を

な「ぴったりサービス」の活用状たオンライン申請や届け出が可能

マイナンバーカードを利用し

について

デジタルガバメントの推進

況と今後の見通しは。

現在、行政手続の案内や様式

# 図 現在、府内自治体とのシステの現状と今後の方針は。 用していく。

エリアリノベーションである。

ける実現に向け取り組んでいく。 ウドの実施に向け、調整中である。 標準化に取り組むとともに、5年 ム共同調達、すなわち自治体クラ 今後は、先端技術活用等による 月稼働予定の次期システムにお

> 中道 建

駅周辺のまちづくりの視点

# けて、立地性や将来性を十分に踏今後は、同跡地の有効活用に向

まえ、まちづくり事業用地として から極めて重要な資源と認識する

(自由民主党)

前広場に隣接 は、門真南駅 0㎡の同跡地 約850

ていないが、引き続き機会を捉え、

4762人減少した 答<br />
今年度の算定で、

場合、普通交

仮に人口が

策債の額は、

約2億7000万円 付税及び臨時財政対

の減少となる。

しかし、同交付税

及び同対策債

の額は、毎年度の地 て総額が決定されて

おり、国勢調 方財政計画に 導入後の国の方針等は示され



門真南駅のかお 東和薬品RACTABドーム

での整備へとつなげていけるよう、の活用や運用を反映した最適な形端末の更新時期には、その時点国に対し財政措置を要望していく。 今後取り組みを進めていく。

いの創出やエリア価値の向上を目の公共施設を有効活用し、にぎわ共空間でのイベント開催等、既存 指すものである。

画されている

## 坂本大次郎 (公明党)

## **のもと、今ある空間を工夫して新**問 まちの未来を思い、公民連携 たな居場所が生まれると、まち全 体の空気も変わっていく。それが エリアリノベーションについて や駅周辺の公共施設の暫定利用にヒアリングなどを行い、駅前広場

や企業と連携し、駅前広場等の公 リノベーション推進事業の概要は。 きると考える。同駅周辺のエリア 広場等の有効活用をきっかけに、 く変化する門真市駅周辺は、駅前 にぎわいを取り戻すことが期待で モノレールの南伸等により大き 同駅周辺エリアで、地元商店 ついて検討し、駅前広場等で公民

# 同事業の進捗状況は。

に採択され、現在、プロポーザルーション検討調査が国の補助事業 番 本市が提案したエリアリノベ 方式にて事業者を選定中である。 事業者決定後は、地元商店等へ

また、エリア価値の向上を図るた 連携による社会実験を実施する。 ンビジョン」の策 める、「(仮称) エ め、公と民のそれぞれの役割を定

出し、府から事業の

技術的支援の協力を

また、同年11月よ

り駅舎と駅周 得ている。 実現に向け、

て、

基本的な



稔元

滝井 (大阪維新の会 緑風議員団)

て覚書を締結した。口市と新駅整備費用

モノレール新駅に

答問 収支採算性を検討してもらい、関 係機関との協議、調整を進め、今 大阪モノレール株式会社にて

乗効果を生み、本市の魅力が向上 に大きく寄与すると考えている。 また、開業予定の商業施設と相 まちづくりがさらに大きく進

とともに府知事宛てに要望書を提これを受け、元年7月に守口市

れるとの結果が出た 駅の整備で一定の整 を行ったところ、今 決定を受けて、守口

モノレール南伸 新駅設置に向け

事業化の意思

た経緯は。

## 土山 重樹 (自由民主党)

ため、現時点で具体的な影響額を査の人口は算定基礎の一部である

見込むことは困難である。

新型コロナによる財政への

影響について

うに見込んでいるのか。 るが、本市は税収の減少をどのよ **ださまざまな対策を講じ始めてい**一他市では税収の減少を見込ん

を参考にすると、市税は約12億円 減少すると考 リーマンショック時の減少率

えている。





項の設計を進めている。

## の事業化について意思決定し、守醫 8月24日の庁議を経て、新駅 市と新駅整備費用の負担につ

## 今後の展開は。

商業施設の外的要件も踏まえ、新 後開業予定の 市と基礎調査 性の向上に加え、周辺地域の発展 新駅設置により、交通の利便 市長の考えは。 思決定を受けたいと考えている。 年度末には府より新駅事業化の意

備効果が得ら

む契機と確信している。

な活用を検討していく。 要増加が見込まれるため、

するにつれ、オンライン申請の需

積極的

同カードの交付数が増加



# 大倉

基文

ないよう確認しつつ、年間指導計 画に基づく学習計画を作成し授業

された内容を踏まえ、未履修が

う準備も計画的に進めている。 を進めている。また内容変更に伴

## (大阪維新の会 緑風議員団)

## 定が図られた後、関係議案の提出 同制度導入の検討状況は。 指定管理者制度導入について こども発達支援センターの .制度導入に向けた庁内の意思決 た。検討結果を報告書にまとめ、 本年4月に検討委員会を設置 公設民営は有効と考えるが

# 中学校新学習指導要領について

を考えている。

される内容や指導する学年が変更 全面実施に向けた取り組みは。<br/>

議会だより

把握し、粘り強く取り組むことが 通しを持ち、学習状況等を適切に 視している「主体的、対話的で深 答問 価を進めていくことが重要である できるような授業づくりと学習評 そのためには、課題解決までの見 がる重要なポイントと考えている。 ていくことこそが学力向上へつな づくりが大切な視点である。 い学び」を実現させるための授業 広げ深めていくには、 これらの推進を図りつつ育成し みずからが学習の中で学びを 今後目指すべき教育とは。 同要領で重

障がい者支援事業所の現状は。川市59カ所となっている。本市の

人口規模に比べて地域におけ

備は必要であると認識している。 け入れを可能とする同避難所の整 応するためにも、障がい者等の受

引き続き、同事

ている。また、交付 洗等、さまざまな設

金を活用し、

窓口呼出状況確認システムの運用

混雑が予想される日をカレン

28力所、枚方市100カ所、

寝屋

することは、接触を

手洗い蛇口を自

動センサーに

避ける有効な

距

離を保った待合用椅子の配置、

市役所改革につい コロナ禍での

窓の開放による換気、一定の対策は。
部1階に集中しているが、コロナ館1階に集中しているが、コロナ

手段と考えるが公共

施設の状況は。

ビニールカーテンの設置等に取り

組

んでいる。

人手で操作する

置状況となっ ものや自動水

とりわけ、

市民課の窓口では、

の件数は、大東市47カ所、交野市

北河内各市のグループホーム

過料も定めている。

と考えている。

生活環境を損なう行為を禁止して 周辺の清潔保持を求めている。 答 問 制 いる。今後も他市の取り組み等効 条例では、無秩序な餌やりによる 清掃やトイレ設置、片づけなど、 また、門真市美しいまちづくり 地域猫活動等との関連性は。 同活動では、餌を与えた後の

応じ計画の見直しを考えていく。 活用手法の検討等を行い、必要に 利用の変化を踏まえ、進捗管理や 下水道整備に伴う利用状況や土地



太平 (公明党)

池田美佐子

(公明党)

について、調査研究していく。染症対策としての有効性や必要性の軽減につながると考えるが、感

での宅配業者との対面接触機会

コロナ禍で増加した通販利

とができるまちづくりを進める上

で、社会資源の整備拡充に向けた

後藤

障がい者支援の現状について

# 取り組みは重要と考えている。

## **所の整備及び社会資源をふやすた**問 障がい者が利用できる同避難 一今後も起こり得る大めの今後の取り組みは。 い者支援事業所が1カ所である。 今後も起こり得る大災害に対 介護保険施設が8カ所、福祉避難所の状況は。

## 置するなど必要に応 を予定している。今 公立保育園等への自動水洗の設置

じて検討して 後、新たに設

ダーで通知するなど、混雑回避の

知を行うとともに、郵送請求や

くても行える手続等を改めて周知

コンビニ交付の活用等、来庁しな

## 供及び働きかけを 用に向けた情報提 避難所としての利 促進するとともに 業所の新規開設を

カ所となっている。

状況であり、グループホーム事業 る受け皿となる社会資源が少ない

## どが 問 宅配ボックスの 市の考えは。 設置補助につ

## 所は25カ所、短期入所事業所は6 で安心して自立した生活を営むこ 障がい者等が住みなれた地域の事業所に関する市の見解は、 緑風議員団) おり利用者も徐々に戻ってきてい 再開後は感染拡大に十分配慮して め、5月下旬まで閉館していたが 行っていく。 また、新型コロナ拡大防止のた



(大阪維新の会

坂本 拓哉



**禾利用の工房は倉庫になっている** また、リサイクルに無関係との

# ムーンショット目

# 門真市国土強靭化地域計画

# 同管理法の概要は。

して、生活環境の阻害行為を規 餌を与えた後の清掃を義務づ 餌を与える行為の規制ではな

# 同プラザは老朽化が目立ち、

施設を利活用することが肝要であ税収減少が懸念される中、既存のい状況である。コロナ禍で今後の最大限活用しているとは言いがた 用面等を検討しつつ、快適に利用 将来的な施設のあり方及び費 理由で利用を断られた事例もあり ると考えるが、市の見解は。

# 拉致問題について

なものかその動向を 活用については本市

## 長の考えは。 一の授業での

## 特にイベントなどでは、各種団体 との協働により工夫を凝らした内 から9000人で推移しており、 も減った。来館者の推移と現状は。 ここ数年、年間約8000人

## 答問 同計画の進捗状況は。

から、アバターや遠隔ロボットの ビスの実証実験を行っていること 注視していく。 にとって有効 食育の取り組みについて 問

## 8週未満での販売禁止、マイクロ 犬、猫の繁殖制限の義務化や生後 項を定めており、今回の改正では、 動物の愛護や管理に関する事

## を与えた後の清掃を義務づけた条 問 改正された大阪市の動物に餌 厳罰化等を規定している。チップ装着の義務化、動物虐待の

# 改正動物愛護管理法について

森

博孝

(無所属)

果的な解決策を調査研究していく。

# 現状と今後の活用について

工房利用団体及び環境関係事業者 できるよう適切な管理を行いつつ、

# 国が掲げるムーンショット目

# 市内水路の有効活用について

# 標について について

画に基づき実施しているが、公共 的な見直しは。 のな見直しは。 のな見をしま

# クアバターに 遠隔行政サー

ついて本市の認識は 標のサイバネティッ

答 他市において、

について アニメ「めぐみ

# 市内の就学前教育・保育施設

## 託していたが、前市長の行財政改 革の一環で市の直営となった。 開設当初は運営をNPOに委

の人権教育

## に関する各計画の指針として、12 門真市地域防災計画等強靭化

度は7000人となり、にぎわい は1万9000人、直営後の22年 来館者はNPO運営時の20年度

# 月に策定を予定している。

# **活用について市教育**

園栽培や料理体験等各施設で特色

# 容で盛り上がりを見せている。 等との意見交換等を十分に行い、

# を営む力の育成に向け野菜等の自留 健康な生活の基本としての食における食育の取り組み状況は。

ある取り組みを行っている。今後

環境意識の啓発に取り組んでいく。

他市の事例等を参考に取り組む。

## Ų とっかり取り組み、「めぐみ」の が致問題は人権教育として、 活用についても教員研修等を活用 働きかけを行っていく。

池田 治子

(自由民主党)

## 議会だより

## ■市政に対する一般質問の要旨(通告順)

## 松本 京子(公明党)

## 1 Net 1 1 9 緊急通報システムについて

- (1) 事業概要について
- (2) 現状と登録について
- (3) 今後の周知について

## 2 多文化共生社会について

- (1) 国家戦略特別区域家事支援外国人受入事業について
- (2) 今後の事業等について
- (3) 多文化共生センター設置について

## 3 行政のデジタル化について

- (1) 行政のデジタル化の目的について
- (2) デジタル化の現状と今後について(書かない窓口導入等)

## **亀井** 淳(日本共産党)

## 1 163号以南のまちづくりについて

- (1) 現状についての市の認識について
- (2) 今後について

## 2 学校給食の無償化について

(1) 市長選挙公約として掲げた具体化をどのように進めるのかについて

## 3 公営住宅の管理運営について

- (1) 移管予定の各団地の附属施設について
- (2) 市営住宅の地位承継について

## 五味 聖二 (大阪維新の会緑風議員団)

## 1 宮本市長の2期目4年間に向けた取り組みと目指すべき目標について

- (1) 1期4年を振り返っての御自身の感想について
- (2) 2期目4年間に向けた取り組みと目指すべき目標について

## 2 学校教育について

- (1) 学力向上の分析と今後に向けた取り組みについて
- (2) 「新しい生活様式」に伴うGIGAスクールの活用について
- (3) インターネットを通じた海外の子どもたちとの交流について
- (4) 子どもの心のケアと体力改善への取り組みについて

## 大西 康弘(自由民主党)

## 1 市民に対する防災情報伝達について

- (1) 市HPにおける市民が知りたい情報への的確な誘導とわかりやすい情報の提供について
- (2) HP以外のタイムリーな情報伝達について

## 2 避難所の整備について

- (1) 避難所における熱中症対策について
- (2) 自主防災組織の現状と風水害時の洪水避難ビルの確保、並びに新型コロナウイルス感染症等の感染症対策下における避難所の確保について

## 3 妊婦特別給付金について

(1) 新型コロナウイルス禍における妊娠・出産を迎える子育て世帯への妊婦特別給付金について

## 内海 武寿(公明党)

## 1 産業振興について

- (1) 中小企業支援について
- (2) 女性が活躍しやすい職場づくりについて

## 2 法定外公共物について

(1) 法定外公共物の管理について

## 3 高齢者施策について

(1) 介護保険料の滞納徴収について

## 岡本 宗城(公明党)

## 1 学力の向上について

- (1) アクションプランについて
- (2) 総合教育会議について
- (3) 学力向上への本格的な予算措置について

## 2 大阪モノレール新駅設置について

- (1) 新駅設置の進捗状況について
- (2) 予備設計について
- (3) 新駅周辺の道路整備について

## 寺西 敬子(公明党)

## 1 門真市第3期地域福祉計画について

(1) 総合的な相談支援体制の現状と課題について

## 福田英彦(日本共産党)

## 1 文化財保護行政の推進について

- (1) 市長部局が所管する問題点について
- (2) 専門人材の育成・配置について
- (3) 普賢寺遺跡発掘調査の現状について
- (4) 生涯学習複合施設での展示等について

## 2 新型コロナウイルス感染症対策について

- (1) 市内感染確認者の現状と認識について
- (2) 対策事業の現状と課題について
- (3) 市民への支援施策を初め今後の強化方向について

## 吉水 志晴 (大阪維新の会緑風議員団)

## 1 ICTの推進について

(1) デジタル・ガバメントの推進について

## 中道 建(自由民主党)

## 1 浄化センター初め未利用地の現状及び今後について

## 2 門真市小中学校学習者用端末について

(1) 小中学校学習者用端末導入後の取得計画について

## 坂本大次郎(公明党)

## 1 エリアリノベーションについて

- (1) エリアリノベーションの概要について
- (2) 進捗状況について

## 土山 重樹(自由民主党)

## 1 財政への影響について

- (1) コロナの影響における税収の見込みについて
- (2) 国勢調査による歳入減の見込みについて

## 2 パナソニック工場跡地周辺の整備について

(1) 道路整備について

## 3 大阪都構想について

(1) 都構想が可決された場合、隣接市である門真市の今後の考えにつ

## **滝井 稔元** (大阪維新の会緑風議員団)

## 1 「大阪モノレール新駅の設置」について

- (1) 経緯について
- (2) 現状について
- (3) 今後について

## 大倉 基文 (大阪維新の会緑風議員団)

## 1 こども発達支援センターの運営について

- (1) 今年度に入っての検討について
- (2) 今後の考えについて

## 2 中学校における新学習指導要領の全面実施について

- (1) 移行措置の間における状況について
- (2) 見えてきた課題について
- (3) 全面実施により目指す教育について

## 森 博孝(無所属)

- 1 改正動物愛護管理法について (1) 改正動物愛護管理法の概要と目的について
- (2) 大阪市の動物に餌を与えた後の清掃を義務づけた条例の概要と目的について
- (3) 門真市地域猫活動との関連性について

## 2 門真市内の水路の有効活用について

- (1) 水路の役割について
- (2) これまでの水路を利用した事業について
- (3) 水路の適正管理や有効活用などの整備計画について

## 後藤太平(公明党)

## 1 本市の障がい者支援の現状について

- (1) 本市の障がい者施設の現状について
- (2) 災害時の福祉避難所について

## (3) 今後の取り組むべき課題について

## 坂本 拓哉 (大阪維新の会緑風議員団) 1 リサイクルプラザエコ・パークについて

(1) 現在のリサイクルプラザエコ・パークの運営状況と今後の活用予 定について

## 池田美佐子(公明党)

## 1 コロナ禍の市役所改革について

- (1) 「新しい生活様式」に向けた諸政策の具体化について
- (2) 窓口業務の取り組みについて

## 池田 治子(自由民主党)

## 1 ムーンショット目標について

- (1) 国のムーンショット目標について
- (2) サイバネティック・アバターについて

## 2 拉致問題についての人権教育について

- (1) 拉致問題についての人権教育の内容について
- (2) アニメ「めぐみ」等映像作品の活用についての市教育長の考えについて

## 3 門真市国土強靭化地域計画について

(1) 計画の進捗状況について

## 4 教育・保育施設等における食育について

(1) 市内の教育・保育施設等における食育の取り組みについて

第3回定例会で審議した案件と議決結果		審議した案件と議決結果 <sub>会派名</sub>			公 明		党						新 <i>0.</i> 義員			自由民主党				日共產	本管党	無所属	議
		議員名	寺西敬子	坂本大次郎	池田美佐子	松本京子									今田 哲哉		大西 康弘			福田 英彦		森博孝	果
	議案番号	議案名	T	CIZ	1	7		纵	力	)L	以	Х	押	_	以	建	74	1	仙山	巨	子	子	
報告	報告第5号	令和元年度門真市健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	_	_	_	_	_	-	_	_	_	_	_	_		_	_	-	_	_	_	_	議決 不要
	報告第6号	令和元年度門真市水道事業会計継続費精算報告書について	_	_	_	-	_	_	_	_	_	_	_	_		_	_	_	_	_	_	_	議決 不要
専決処分	承認第14号	専決処分の承認を求めることについて(令和2年 度門真市一般会計補正予算(第7号)について)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	$\bigcirc$	0	0		0	0	0	0	0	0	0	承認
	承認第15号	専決処分の承認を求めることについて(令和2年 度門真市一般会計補正予算(第8号)について)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	承認
	議案第63号	市長等の退職手当の支給額の特例に関する条例の 制定について		0	0	0	0	$\bigcirc$	0	$\circ$	0	$\bigcirc$	0	0		0	0	$\bigcirc$	0	$\circ$	$\bigcirc$		可決
	議案第64号	門真市文化財保護条例の制定について					0	$\bigcirc$		0		$\bigcirc$	$\bigcirc$	0		$\circ$	$\bigcirc$	$\bigcirc$	0	0	$\bigcirc$	$\circ$	可決
	議案第65号	門真市有功者条例の一部改正について	0	0	0	0	0	0	0	0	0	$\bigcirc$	0	0		0	0	0	0	0	0	0	可決
	議案第66号	門真市附属機関に関する条例の一部改正について	0	0	0	0	0	0	0	0	0	$\bigcirc$	0	0		0	0	0	0	0	0	0	可決
	議案第67号	門真市一般職の職員の特殊勤務手当に関する条例 の一部改正について	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	可決
条 例	議案第68号	門真市税条例の一部改正について	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	可決
	議案第69号	門真市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する 基準を定める条例の一部改正について	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	可決
	議案第70号	門真市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	0	0	0	0	0	$\circ$	0	0	0	0	0	0	( }	0	0	$\circ$	0	0	$\circ$	0	可決
	議案第71号	門真市立保育所条例の一部改正についてに対する 修正案	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	議長につ	×	×	×	×	0	0	×	否決
		門真市立保育所条例の一部改正について(原案)	0	0	$\bigcirc$	0	0	$\bigcirc$	0	0	$\circ$	$\bigcirc$	$\bigcirc$	0	つき、	$\circ$	$\bigcirc$	$\bigcirc$	0	X	X	$\bigcirc$	可決
その他の	議案第61号	動産の取得について	0	0		0	0	$\bigcirc$	0	0	$\circ$	$\bigcirc$	$\bigcirc$	0		$\bigcirc$	$\bigcirc$	$\bigcirc$	$\circ$	0	0	$\bigcirc$	可決
議案	議案第62号	訴訟上の和解について					0	$\bigcirc$		0		$\bigcirc$	$\bigcirc$	0	決に	$\circ$	$\bigcirc$	$\bigcirc$		$\bigcirc$	$\bigcirc$	$\circ$	可決
	議案第72号	令和2年度門真市一般会計補正予算(第9号)		0		0	0	$\bigcirc$	0	0		$\bigcirc$	$\bigcirc$	0	採決に参加	$\bigcirc$	$\bigcirc$	$\bigcirc$	0	0	$\bigcirc$	$\circ$	可決
補正予算	議案第73号	令和2年度門真市国民健康保険事業特別会計補正 予算(第3号)	0	0	0	0	0	$\circ$	0	0	0	0	0	0	なし)	0	0	$\circ$	0	0	$\circ$	0	可決
	議案第74号	令和2年度門真市後期高齢者医療事業特別会計補 正予算(第1号)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	$\bigcirc$	0	0		0	0	0	0	0	0	0	可決
	議案第75号	令和2年度門真市水道事業会計補正予算 (第3号)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	可決
人事案件	議案第78号	令和2年度門真市一般会計補正予算(第10号)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	$\bigcirc$	0	0		0	0	0	0	0	0	0	可決
	議案第76号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	0	0		0	0	$\bigcirc$		0	0	$\bigcirc$	$\bigcirc$	0			$\bigcirc$	$\bigcirc$	$\circ$	$\bigcirc$	$\bigcirc$	$\bigcirc$	同意
	議案第77号	教育委員会委員の任命について	0	0		0	0	$\bigcirc$	0	0	0	$\bigcirc$	$\bigcirc$	0		$\circ$	$\bigcirc$	$\bigcirc$	0	0	$\bigcirc$		同意
	議案第59号	令和元年度門真市水道事業剰余金の処分について		_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_		_	_	_	_	_	_	_	継続審査
決算案件	議案第60号	令和元年度門真市公共下水道事業剰余金の処分について	_		_	_	_	_	_	_	_	_	_	_		_	_	_	_	_	_	_	継続審査
	認定第1号	令和元年度門真市歳入歳出決算認定について		_	_	_	_	_				_		_			_	_		_	_		継続 審査
	認定第2号	令和元年度門真市水道事業会計決算認定について		_	_	_	_	_	_		_	_	_	_		_	_	_	_	_	_	_	継続審査
	認定第3号	令和元年度門真市公共下水道事業会計決算認定に ついて	-	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_		_	_	_		_	_	_	継続審査
議昌坦山	議員提出 議案第3号	地方自治体のデジタル化の着実な推進を求める意 見書	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	×	×	0	可決
議員提出	議員提出 議案第4号	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政 の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意															$\bigcirc$		$\bigcirc$	0			可決

※表の見方 『○』は賛成、『×』は反対。会派名は大会派・公党順、議員名は議席順。

## 議 会 活 動 日 誌 (令和2年8月1日~10月31日)

- 8 20 大阪府市議会議長会総会
  - 31 議会運営委員会
- 9 · 1 議会運営委員会
  - 7 本会議(第3回定例会開会) 決算特別委員会
  - 8 総務建設常任委員会
  - 9 民生水道常任委員会
  - 10 文教こども常任委員会
  - 11 議会運営委員会

- 9 · 17 議会運営委員会
  - 本会議
  - 18 本会議(第3回定例会閉会)
- 10 · 8 決算特別委員会
  - 15 決算特別委員会
  - 16 近畿市議会議長会議長研修会
  - 20 決算特別委員会
  - 26 近畿地方治水大会
  - 29 東部大阪治水対策促進議会協議会総会

